



# 村内で出ている二酸化炭素量ってどのくらい？

村では、「第2次東海村環境基本計画」に基づき、“村内のどこからどのくらいの二酸化炭素が排出されているのか”を把握するため、毎年、二酸化炭素排出量実態調査を行っています。この計画では、基準年である2005年(平成17年)から、二酸化炭素排出量を25パーセント削減することを目標としており、平成30年度は皆さんの省エネへの心掛けにより、22パーセント削減することができました。

各家庭での省エネは、温室効果ガスの排出を抑制する地球温暖化対策には必要不可欠な取り組みです。これからも継続して、「使っていない家電のコンセントを抜く」「運転の際エコドライブを心掛ける」等の省エネに取り組んでいきましょう。

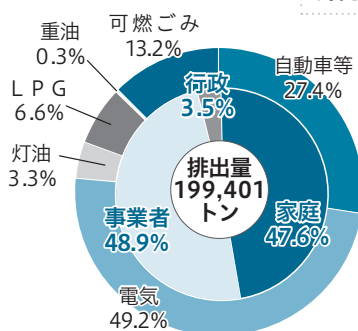
【問い合わせ】環境政策課環境計画・緑化推進担当(☎282-1711 内線1454)

## 【平成30年度 主体別・排出源別二酸化炭素排出量(下表)とその割合(下グラフ)】

(トン-CO<sub>2</sub>/年)

排出源	主体	家庭	事業者	行政	合計
自動車等		28,699	25,867	112	54,678
電気		35,249	56,958	5,786	97,994
灯油		2,889	3,448	193	6,530
LPG		9,562	3,488	141	13,191
重油		0	630	0	630
可燃ごみ		18,518	7,072	789	26,379
合計		94,917	97,464	7,021	199,401

※各項目ごとに数値を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。



内円…主体別排出割合  
外円…排出源別排出割合

自動車等の利用と電気使用による二酸化炭素の排出が大半を占めています。環境に優しいエコドライブや節電・省エネに努めましょう!



## 【気候変動への「適応」と「緩和」】

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次報告書によると、現状のまま二酸化炭素を含む温室効果ガスの追加的な削減努力をしない場合、今世紀末の平均気温は最大4.8度(°C)上昇すると予想されています。4度(°C)の気温上昇では世界的な食糧危機を招く恐れがあるほか、気象や水資源、人の健康、生態系など、さまざまな分野における深刻な影響が指摘されています。

日本では、平成30年12月に「気候変動適応法」が施行され、地球温暖化の影響による気温の上昇や、降水量の変動等による自然環境・農林水産業・自然災害等への影響に対する「適応」が求められています。一方で、温室効果ガスの排出削減による「緩和」も同時に進め、気候変動を最小限に抑える必要もあることから、引き続き家庭や職場などにおいて、無駄なエネルギーを消費しないように「省エネな生活」を心掛けましょう。

### 村内で活動・活躍している団体をご紹介します!

## 図書館の修理ボランティア

図書館の修理ボランティアは、ページが取れたり破れたりしてしまった図書館の本を再び利用できるよう、一冊一冊ていねいに修理しています。この活動は図書館の開館10周年を記念に始まり、今年で24年目を迎えました。その間、会員は入れ替わりながら、現在は14人で活動しており、図書館開館中の都合の良い時間に作業をしているほか、交流会を行い会員同士の交流を深めたり、スキルアップを目的とした講習会を開催したりしています。本や本の修理に興味がある方は、ぜひ一緒に活動してみませんか。初心者の方も大歓迎です。



### 【Data】

- 活動日時▼ 村立図書館の開館時間内(休館日を除く)
- 活動場所▼ 村立図書館
- 会員数▼ 14人
- 連絡先▼ 村立図書館(☎282-3435)